

普及活動情勢報告（令和5年8月分）

須崎農業振興センター農業改良普及課

水稻の安定栽培技術の確立を目指して ～早期稲奨励品種現地決定試験の坪刈り～



収穫調査を実施する普及指導員ら

7月26日、中土佐町上ノ加江の早期稲奨励品種現地決定調査ほ場で収穫調査を実施しました。

今年の水稲の生育状況は、天候に恵まれたことで概ね順調で、病害虫の発生状況は平年と同程度でした。

今後は農業技術センターで収量・品質調査を行い、11月に開催される集落営農組織等代表者連絡会などで報告する予定です。

当課は、今後も水稲の安定栽培技術の確立と普及推進に取り組んでいきます。

土佐甘とうの規格外品、おいしく加工します！ ～6次産業化セミナー実践コースⅡ～



土佐甘とう加工品への思いを語る「すまいる」代表者

7月28日、須崎総合庁舎会議室で6次産業化セミナー実践コースⅡが行われ、梶原町の農家グループ「すまいる」から1人が参加しました。

「すまいる」は、津野山地域の基幹品目である甘長とうがらしの規格外品を加工して、特産品にすることを目標に活動しています。

実践コースでは、講師による原価計算等についての講習と個別面談がありました。面談では、当課が試作を支援した半加工品について、講師から「個人向けに限らず業務用としての商品の可能性もあるのではないか」との助言がありました。

当課は今後、配合割合や製造工程の確立に向けた試作等を支援していきます。

つの茶の品質向上に向けて ～茶園の土壌改善活動支援～



土壌採取をする地域おこし協力隊員ら

8月1日、津野町地域おこし協力隊員、JA職員、当課職員の3人で津野町内の茶ほ場を巡回し、土壌分析用の土を採取しました。

津野町は令和5年3月に茶の振興方針について定めた「津野町茶業振興計画」を策定しており、当課は「生産」「販売」「文化」の3部門の活動を支援しています。

今回の土壌分析は「生産部門」の計画活動の一つであり、分析結果をもとに、当課はJAと連携してつの茶の品質向上のための肥培管理について検討し、生産者への指導を通じて茶園の土壌改善につなげていきます。

当課は、今後も津野町の茶業振興に向けて、関係機関と連携して課題解決に取り組んでいきます。

農福連携を進めていくために ～須崎市障害者自立支援協議会第1回農福連携分科会～



農福連携の活動を協議

8月3日、須崎市総合保健福祉センターで農福連携分科会が開催され、福祉関係機関や農業関係機関などから13人が出席し、令和4年度活動報告や農福連携に係る求職、求人の把握状況などについて意見交換しました。

当課からは、農業者アンケートの結果を伝え、農福連携を推進していくための活動方法等を提案しました。参加者からは「いきなり、農業者による直接雇用は難しい」「お試し体験が必要である」などの声がありました。

当課は、福祉関係機関と連携しながら、農業者に農福連携の啓発を行っていきます。

米ナス青枯病対策の検討 ～土壌消毒現地ほ場調査～



農家へ説明する普及指導員

8月10日、津野町米ナス農家の実証ほ場で、クロルピクリンくん蒸剤にダゾメット粉粒剤を併用した土壌消毒処理による青枯病抑制効果について調査しました。

米ナス栽培では、青枯病のまん延による減収が課題となっています。これまでは防除方法として、作付前の土壌消毒や抵抗性台木品種を用いた高接ぎ木栽培を実施してきましたが、これらの技術を利用しても抑制できない状況となっており、実証ほを設置して調査を実施しています。

当課からの、青枯病発生状況の前年度比較の説明に対して、実証農家から「現時点では、昨年度作より発生本数が減っている。引き続き管理を頑張っていきたい」との意見がありました。

今後も、月2回の全株調査を実施し、ダゾメット粉粒剤を併用した土壌消毒の効果を検証していきます。